

令和4年度 第2回 海老名市にぎわい振興審議会 会議録

日時等	令和4年10月18日(火) 10:05~11:30 政策審議室		
議題	(1)「えびな元気にぎわい振興計画2021」の進行管理について (2) 令和4年度にぎわい振興事業について (3) 令和5年度にぎわい振興事業の検討事項について		
出席委員	羽田会長、三田副会長、下津委員、加納委員、門脇委員、長委員、伊藤委員、半澤委員、勝田委員 計9名		
公開の可否	公開	傍聴者数	0名
事務局・説明者等	経済環境部長 金指、 経済環境部次長 吉沢、 商工課長 本多、 にぎわい振興係 今野、増田、大谷		

1 開会

2 会長及び副会長の選任について

羽田耕治氏が会長に、三田佳美氏が副会長に選任される。

3 議題

議題1 「えびな元気にぎわい振興計画2021」進行管理について

■ 事務局より「えびな元気にぎわい振興計画2021」の実施進捗について説明

委 員 民間の事業者に関わる施策がいくつか見られるが、民間の事業者に働きかけて情報収集されたのか。

事 務 局 事業者のプレスリリースを確認することもあるが、イルミネーション事業で連係している事業者から情報提供が積極的に行われるようになったことも要因のひとつ。

委 員 海老名のにぎわい振興の意気込みが民間に浸透し、更に民間の情報が行政の方に入るといよいよ循環になってきているという風に理解してよいか。

事 務 局 それを目指している。

委 員 広域的に取り組む中で交通不便地域、相模国分寺跡等のように駐車場が設置されていない場所など課題はあるが、不便を解消するような施策は講じているのか。

事 務 局 駅前だけでなく、市全域のにぎわいを創り出していきたいと考えているところであるが、交通不便地域や来街者への対応に関わる課題はまだある。その中の施策の一つとして、シェアサイクル事業については、住宅地や本郷ふれあい公園等、少し駅から離れた場所にステーションを設ける等、全体的な回遊を目指してい

る。

委員 検証がどうだったのかというところが見えてくると、次につながると思う。この中で市民が特に関心を持ったことが見えてくると、一つ切口になってそこを深掘りすることで、海老名の特色が出てくるのではないか。

議題2 令和4年度にぎわい振興事業について

■ 事務局より、令和4年度にぎわい振興事業について説明

- ・特にスタンプラリー事業、シェアサイクル事業、イルミネーション事業について

委員 駅間にベンチを置いているようであるが、他地域でも散見されるように、ピアノなどは置かないのか。

事務局 海老名中央公園にて月に2回ストリートピアノを実施しているが、駅では今現在予定していない。

委員 スタンプラリーは、直に接する機会があり、親子連れで参加し、スタンプラリーの地図を広げている場面を見ていると、良いことを少しでもしているなど実感し、嬉しく感じている。

委員 「事業をもっともっと」となる中で、スタンプラリーはよかったと思う。シェアサイクルも数多く驚いた。どのような人が利用しているかというデータを見ていくと、海老名の魅力がどのようなところにあるのか、どのような所で食事をしているのか、名所はどこか見えてくる。一つ一つ検証していくことで、次につなげることができると思う。

事務局 成果測定や評価は重要と事務局側も認識している。来年度は、本計画の3カ年目となるので、数値化は難しい部分もあるが、効果検証し、次につなげていければと思っている。シェアサイクル事業についても月に1回利用状況報告があるので、そのようなデータを上手に使いながら市全体のにぎわいにつなげていきたい。

議題3 令和5年度にぎわい振興事業の検討事項について

■ 事務局より、令和5年度にぎわい振興事業の検討事項について説明

委員 手広く行われていて素晴らしい内容と感じた。広い範囲で行う中で、継続していくものと見直していくものの整理をされていると思う。特に継続していくもの、人気が高いもの等分析をすることで、人はどのようなものを求めているのかが見えてくる。そういうところを次の事業に進めていくサイクルができればよいと思う。

委員 よかったところは何かよくて集まっているのか分析して、次の事業に活かしていく取組みをすると失敗する事業が少なくなって、よりにぎわいが活性化できるものに特化できるのではないか。

- 委員 民間であれば効果がないものをやめていく選択ができるが、行政ではなかなか難しい。たくさん事業をやっているその次は、効果がある事業はどれかになってくる。にぎわい指数を出すことは難しいが、実数を入れるだけで効果が見えてくる。市で仕掛けているものと民間で仕掛けていくものを全部取り込んで行うことは難しい面もあるが、事業評価の重要性については留意してほしい。また、この間、コロナ禍で中止していたが、今年になって2、3年ぶりに行うイベントは来場者数が非常に多い。そうした中で人が集まりすぎないようにチケット制に切り替えている事例もある。今まで出てこなかった人も出てくるので、仕掛けには工夫も必要である。チャンスだと思ってやっていただければ良い。さらに言えば、たとえば昨日、市内のホテルに宿泊したが、しっかりとデスクに市のガイドブック等が入っていた。こうした配慮が大切だと思う。
- 委員 イルミネーション期間が長いが、同時に期間中にイベントがたくさんあり、常に海老名に人が集まるようになっている。2月14日までいつもにぎわっているイメージが湧いた。これだけのイベントの成果について期待が持てる。
- 委員 イルミネーション期間が長めの印象。期間中にイベントがたくさんあり、常に海老名に人が集まるようになっている。2月14日までいつもにぎわっているイメージが湧いた。これだけのイベントの成果について期待がある。
- 委員 シェアサイクルを北部公園で見かけているが、いつも無いように見受けられる。
- 事務局 確かに海老名駅を中心に自転車そのものや、自転車があってもバッテリー残量がないことは認識しており、事業者と問題共有して順次改善を今後はかかっていく。
- 委員 自治会のスタンプラリーとにぎわいのスタンプラリーを一緒にしてしまった方がわかりやすいのではないか。
- 事務局 自治会のスタンプラリーは、自治会加入促進が目的であり、にぎわいスタンプラリーとは趣旨が異なる。
- 委員 取組みの中で、自転車は特によいと思う。DXは仕事を楽にする手法だと思う。この中での施策とリンクさせ、特典が受けられるなどできれば面白い取り組みになると思う。特典が魅力になって自転車が利用され、ウィズコロナにつながっていきだろう。
- 委員 シェアサイクル事業者からの報告はどうなっているのか。
- 事務局 事業者から1ヶ月ごとに利用回数、貸出場所・返却場所等の情報があがってくる。そういった情報を蓄積しながら、都市交通の担当部署とも連携しながら2年間で検証していきたい。
- 委員 課題も今後ははっきりしてくる。それも含めて期待する。

4 閉会挨拶